

第3部 各分野編

- 1 地域
- 2 経済
- 3 子ども・若者
- 4 安全・安心
- 5 環境
- 6 文化
- 7 都市空間

1 地域

～つながりと支え合い～

基本目標1 共生と交流により人と人がつながるまちにします

基本目標2 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします

基本目標3 多様な地域課題を解決できるまちにします

基本目標1

共生と交流により人と人がつながるまちにします

将来のまちの姿-1

地域では、世代を超えた様々な交流などを通じて住民同士のつながりが深まり、世代の違いや障がいの有無にかかわらず、支え合いにより自立した生活を送っています。また、誰もが持てる能力を十分に発揮して、積極的に社会参加しています。

データからわかる現在のすがた

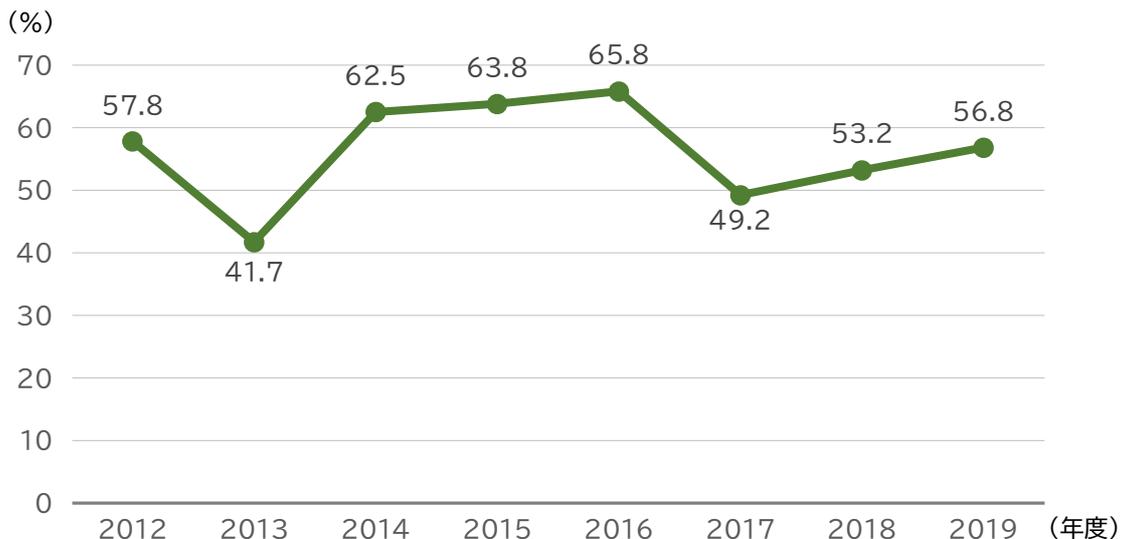
- ①身近に交流の機会があると感じている人の割合は 31.8%(平成 25 年度(2013 年度))から 41.2%(平成 30 年度(2018 年度))と増加しています。
- ②社会貢献活動を行う高齢者の割合は 57.8%(平成 24 年度(2012 年度))から 56.8%(令和元年度(2019 年度))と横ばいで推移しています。
- ③障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合は 28.1%(平成 24 年度(2012 年度))から 27.1%(令和元年度(2019 年度))と横ばいで推移しています。

①身近に交流の機会があると感じている人の割合

	2013 年度	2016 年度	2018 年度
身近に交流の機会があると 感じている人の割合	31.8%	23.5%	41.2%

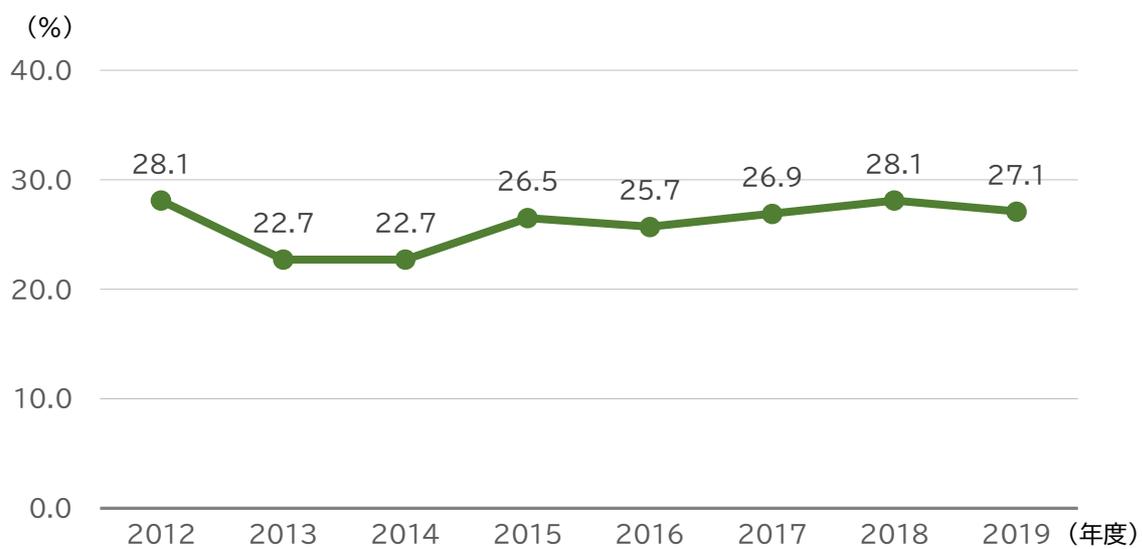
<資料>札幌市

②社会貢献活動を行う高齢者の割合



<資料>札幌市

③障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合



<資料>札幌市

将来のまちの姿-2

地域を超えた市民同士や市民と団体などとのつながりも広がっており、重層的で多様なまちづくりのネットワークが広がっています。

データからわかる現在のすがた

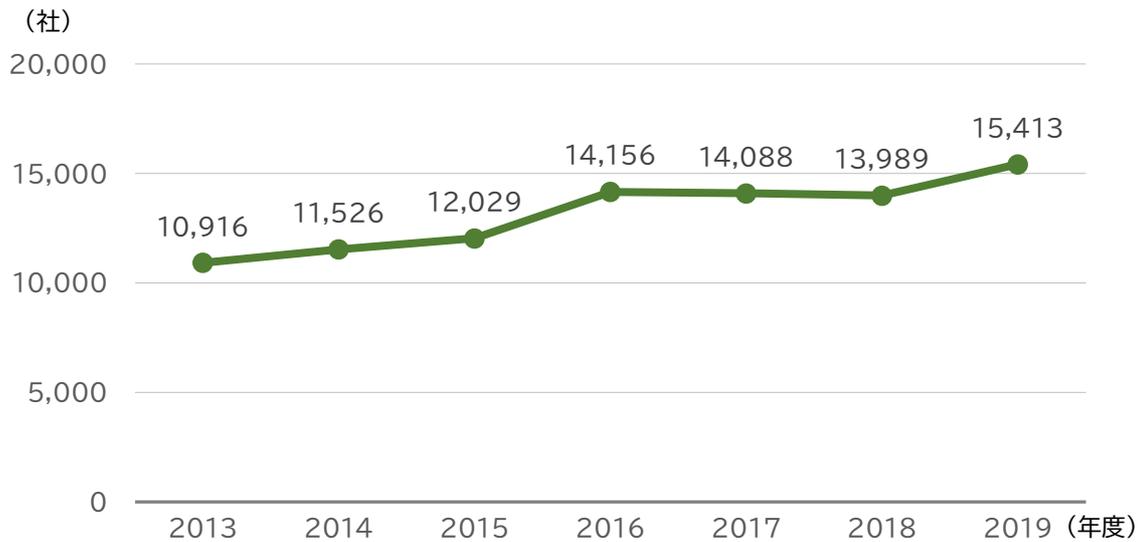
- ①連携している市民まちづくり活動団体の割合は 59.6%(平成 25 年度(2013 年度))から 48.7%(平成 30 年度(2018 年度))と低下しています。
- ②企業のまちづくり活動への参加数(のべ)は順調に推移しています。

①連携している市民まちづくり活動団体の割合

	2013 年度	2016 年度	2018 年度
連携している市民まちづくり 活動団体の割合	59.6%	62.8%	48.7%

<資料>札幌市

②企業のまちづくり活動への参加数(のべ)



<資料>札幌市

将来のまちの姿-3

男女がお互いを尊重し、責任を分かち合う男女共同参画社会が実現され、様々な分野で協力しながら活動しています。

データからわかる現在のすがた

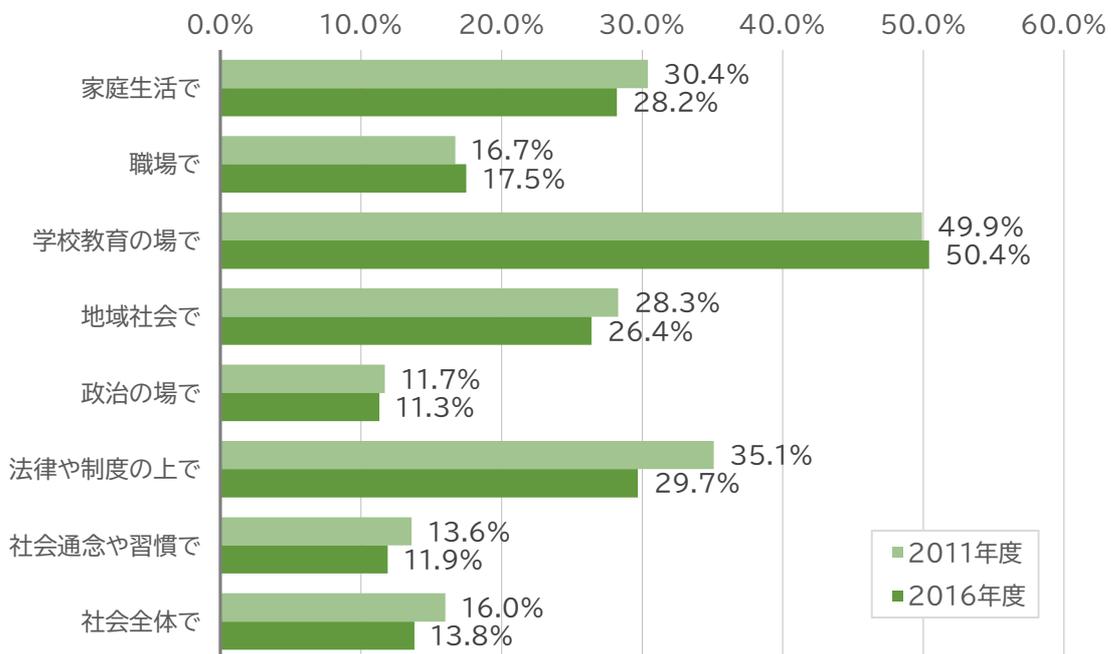
- ① 女性の有業率は 45.2%(平成 24 年(2012 年))から 47.5%(平成 29 年(2017 年))と上昇しています。
- ② 男女平等と考える人の割合は多くの分野で減少しています。

①女性の有業率

	2012年	2017年
女性の有業率	45.2%	47.5%

<資料> 総務省「就業構造基本調査」

②男女の平等観



<資料> 札幌市

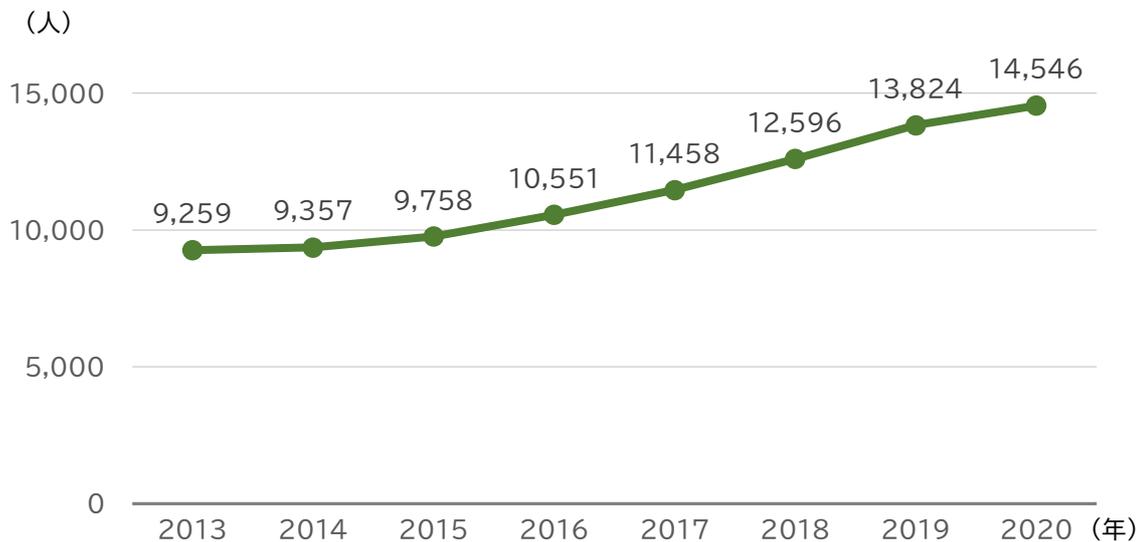
将来のまちの姿-4

地域における多文化共生の意識が醸成され、様々な国籍や民族の人々が、国や文化の違いにかかわらず、お互いを認め合い、地域の一員として生活しています。

データからわかる現在のすがた

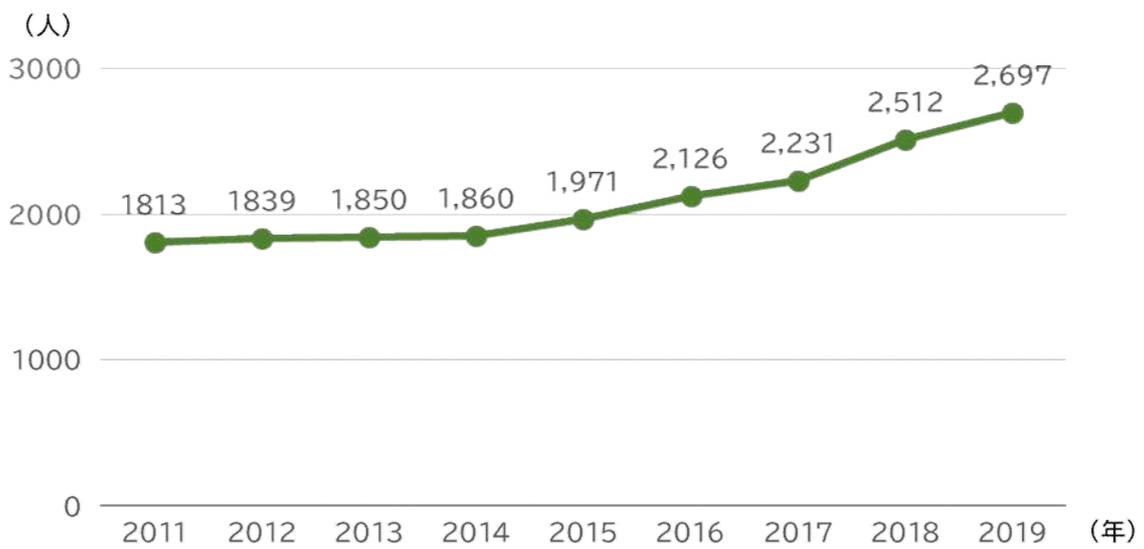
- ①札幌市の外国籍市民の数は 9,259 人(平成 25 年(2013 年))から 14,546 人(令和 2 年(2020 年))と増加しています。
- ②海外からの留学生数は 1,813 人(平成 23 年(2011 年))から 2,697 人(令和元年(2019 年))と増加しています。
- ③地下鉄南北線さっぽろ駅コンコースに、アイヌ文化への理解を深めるきっかけづくりの場として、アイヌ文化を発信する空間「ミナパ」を開設しました。

①外国籍市民の数



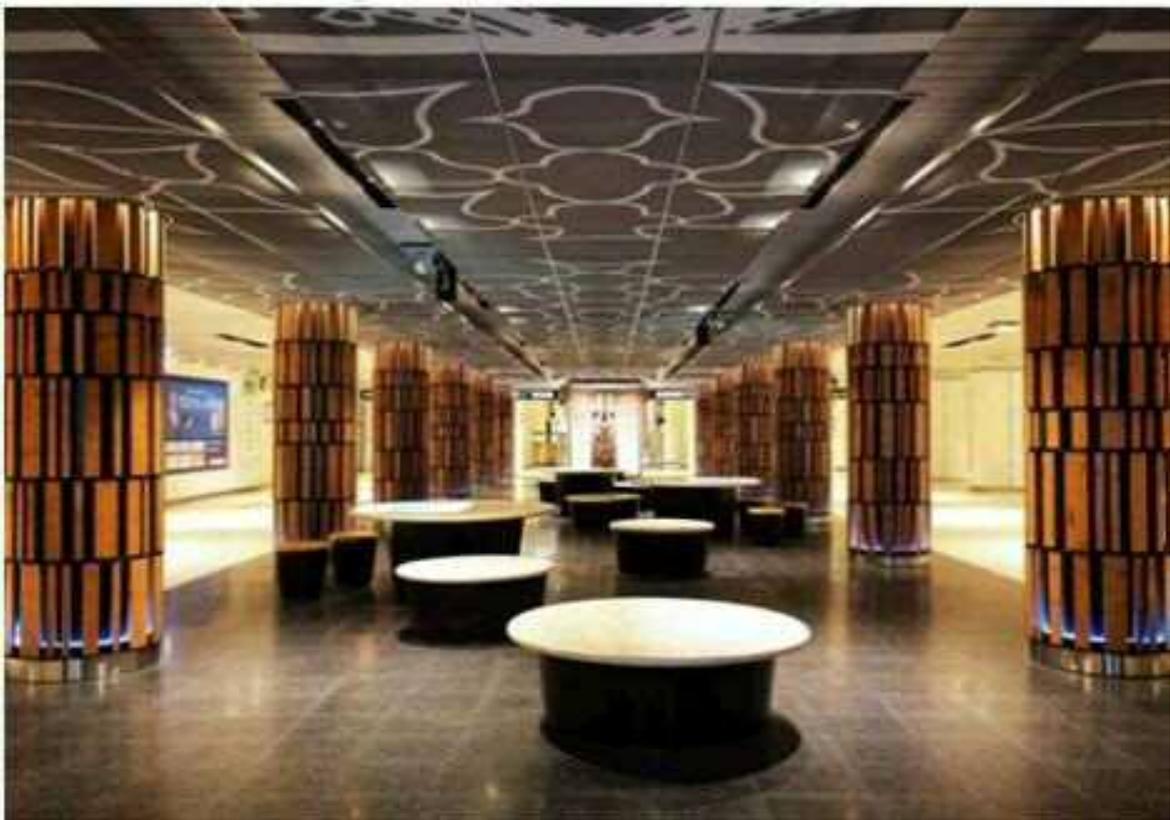
<資料> 札幌市
※各年 5 月 1 日現在

②外国人留学生数の推移



<資料>日本学生支援機構
※各年 5 月 1 日現在

③アイヌ文化を発信する空間「ミナパ」



将来のまちの姿-5

子どもを始めとした住民が集える居場所や交流の場が身近にあり、そこで生まれたつながりを通じて地域コミュニティが活性化しています。

データからわかる現在のすがた

①小学校にまちづくりセンター・地区会館、そして児童会館を併設し、地域における新たな交流の場を整備しています。

①札幌市立二条小学校



基本目標2

様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまちにします

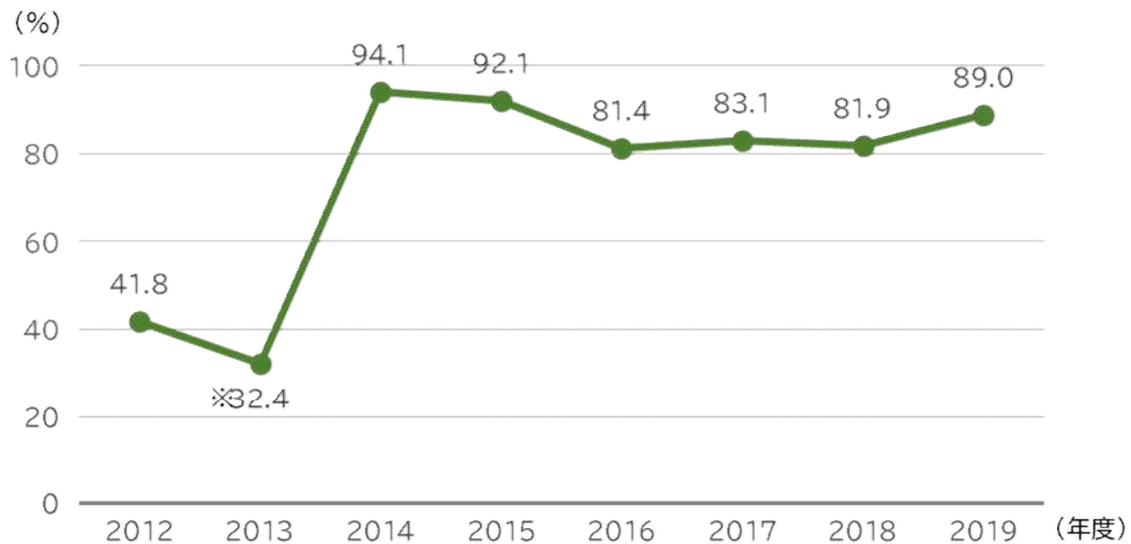
将来のまちの姿-1

子どもから高齢者まで、全ての市民が、様々な学びの機会を活用しながら、それぞれが持つ能力や経験を生かし、自分に合った形で主体的に地域のまちづくり活動に参加し、活躍しています。

データからわかる現在のすがた

- ①市民まちづくり活動に参加したことのある人の割合は 80%を超えるなど高い数値で推移しています。
- ②その一方で、防災訓練や健康づくり活動への参加など、参加したことのある割合が総じて低い値となっている分野も見受けられます。

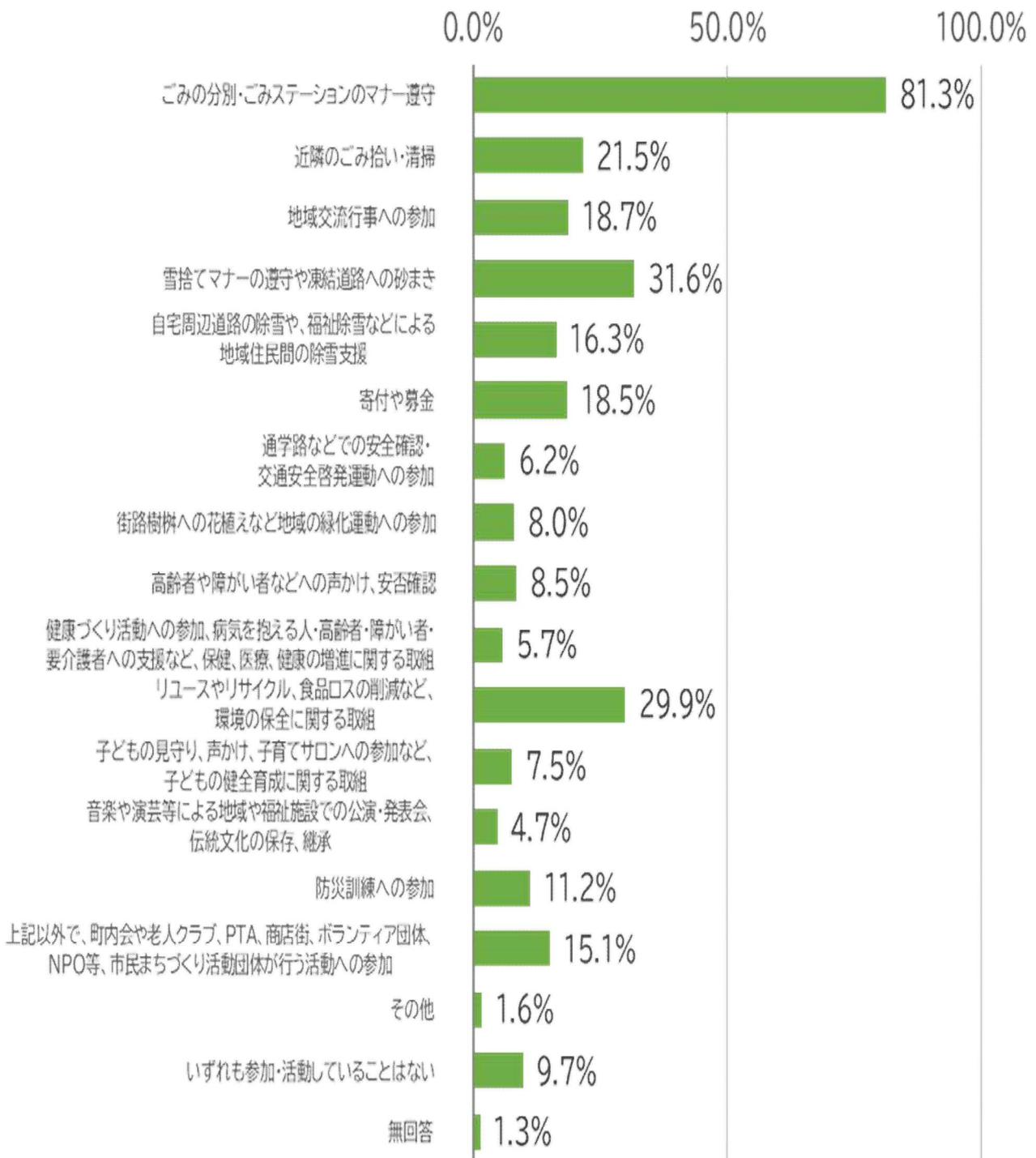
①市民まちづくり活動に参加したことのある人の割合



<資料>札幌市

※2014年度の調査から質問方法をより具体的な事例を記載する方法に変更。

②市民まちづくり活動に参加したことがある人の割合(種類別)



<資料>札幌市(2019年度)

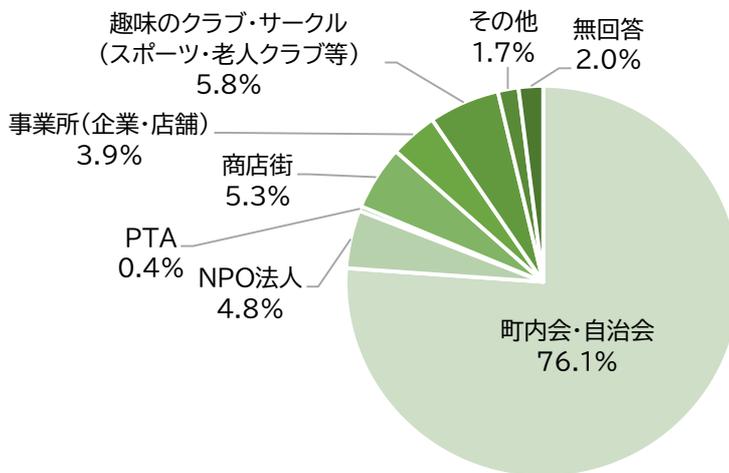
将来のまちの姿-2

地域のまちづくり活動の中核を担っている町内会への加入が進み、地域コミュニティが活性化しています。

データからわかる現在のすがた

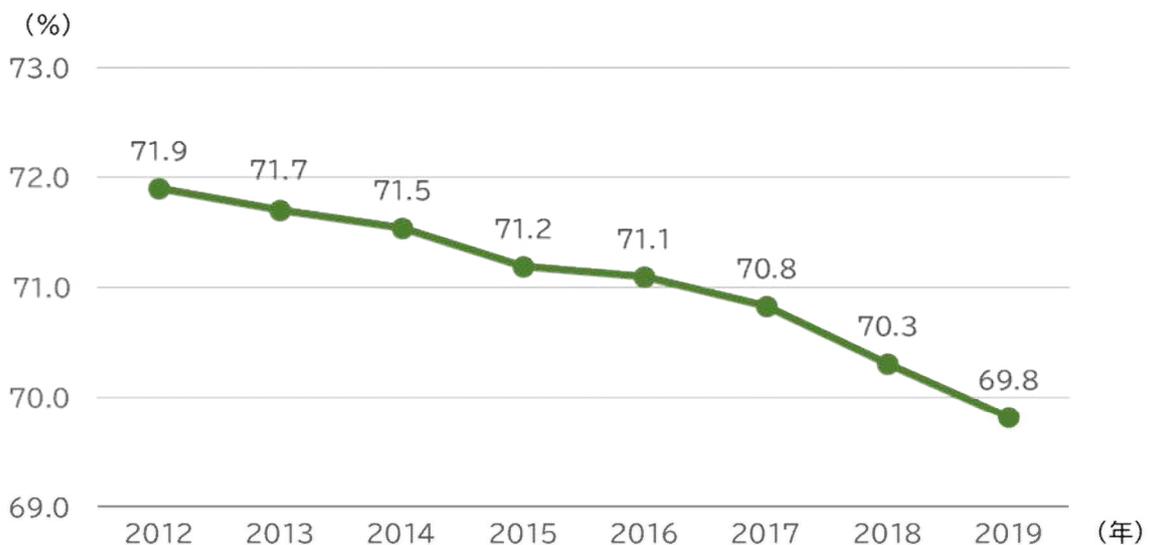
- ①地域コミュニティ活動を担う団体として町内会が重要だと認識されています。
- ②町内会加入率は71.9%(平成24年(2012年))から69.8%(令和元年(2019年))と緩やかに減少しています。

①地域コミュニティ活動を担う団体



<資料>札幌市(2015年度)

②町内会加入率



<資料>札幌市
※各年1月1日時点

将来のまちの姿-3

町内会を始め、NPO、商店街、企業など、多様な活動主体が様々な地域のまちづくり活動に取り組んでいます。

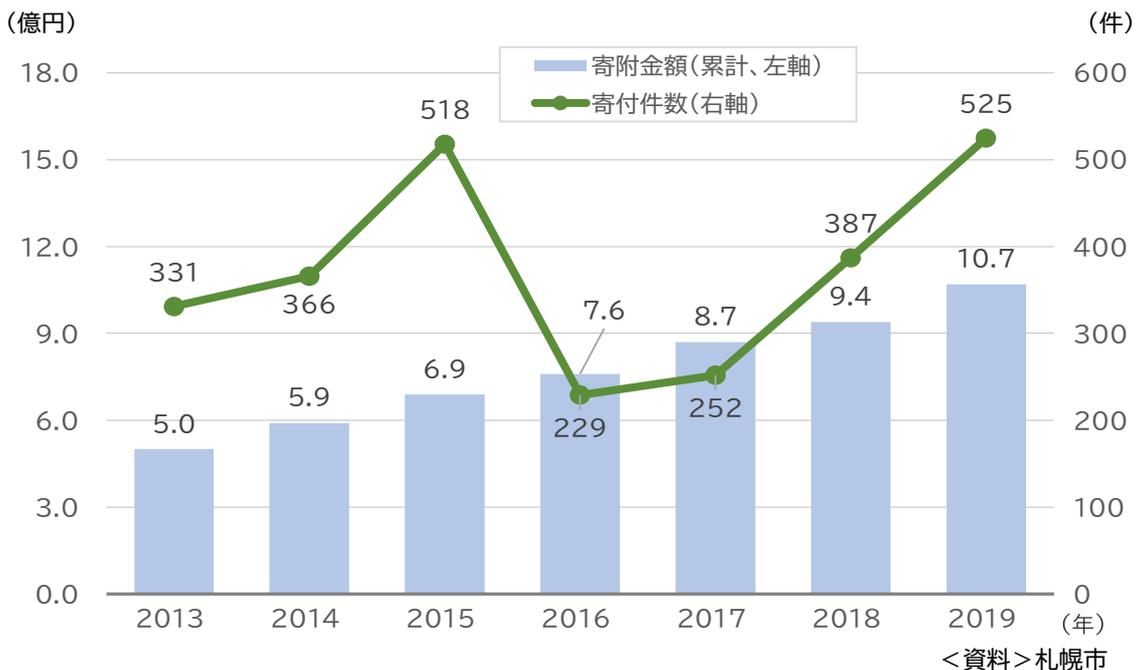
データからわかる現在のすがた

- ① 市内に主たる事業所を置くNPO法人数は857団体(平成24年度(2012年度))から945団体(令和元年度(2019年度))と増加しています。
- ② さぽーとほっと基金寄付について、331件(平成25年(2013年))から525件(令和元年(2019年))と大きく増加するとともに、金額も5.0億円(平成25年(2013年))から10.7億円(令和元年(2019年))と堅調に推移しています。

①市内に主たる事業所を置くNPO法人数



②さぽーとほっと基金寄付件数、寄付金額(累計)



基本目標3

多様な地域課題を解決できるまちにします

将来のまちの姿-1

地域ごとに年齢や世帯構成、居住形態などの違いが顕著になり、地域課題が複雑・多様化している中、これらの課題は、住民や地域の団体、企業などによる自主的な活動や行政による支援を通じて解決されています。

データからわかる現在のすがた

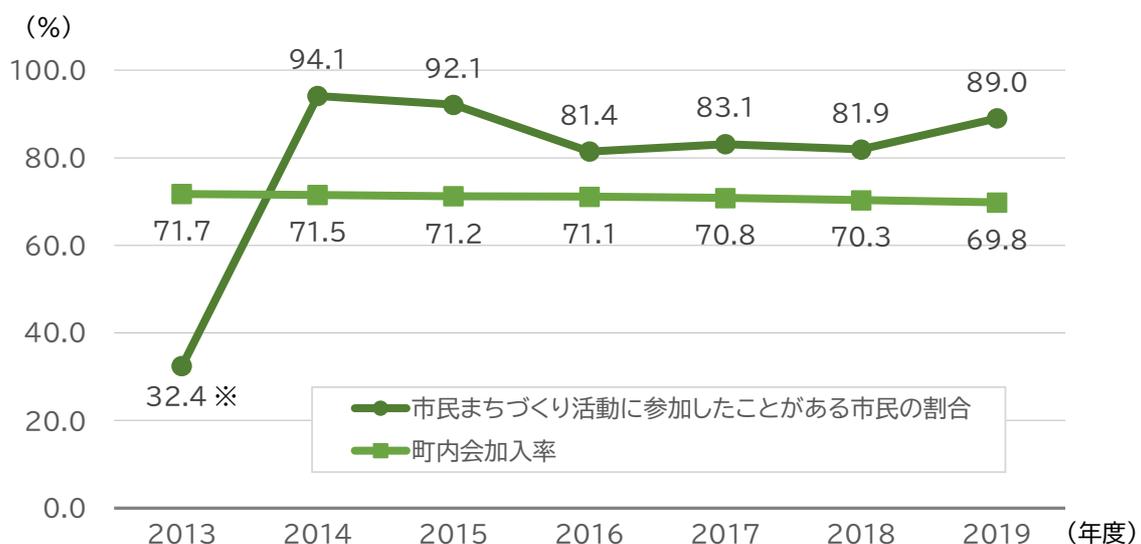
- ①まちづくり活動情報サポートサイトへの登録団体数は、2,758 団体(平成 29 年度(2017年度))から2,713 団体(令和元年度(2019年度))と横ばいで推移しています。
- ②市民まちづくり活動に参加したことがある市民の割合は 80%を超えるなど高い数値で推移している一方で、町内会の加入率は緩やかに減少しています(再掲)。

①まちづくり活動情報サポートサイトへの登録団体数

	2017年度	2018年度	2019年度
まちづくり活動情報サポートサイトへの登録団体数	2,758団体	2,755団体	2,713団体

<資料>札幌市

②市民まちづくり活動に参加したことがある市民の割合、町内会加入率



<資料>札幌市

※2014年度の調査から質問方法をより具体的な事例を記載する方法に変更。

将来のまちの姿-2

地域のまちづくり活動を実践する様々な主体が、お互いに連携し、相乗効果を生みながら活発に活動しています。

データからわかる現在のすがた

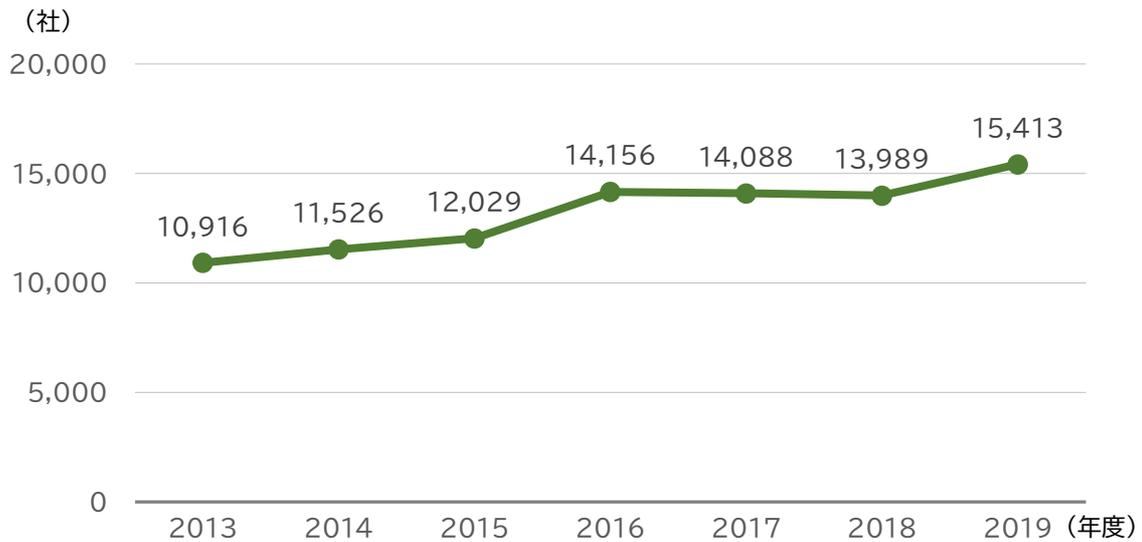
- ①連携している市民まちづくり活動団体の割合は 59.6%(平成 25 年度(2013 年度))から 48.7%(平成 30 年度(2018 年度))と低下しています。
- ②企業のまちづくり活動への参加数(のべ)は順調に推移しています。

①連携している市民まちづくり活動団体の割合

	2013 年度	2016 年度	2018 年度
連携している市民まちづくり 活動団体の割合	59.6%	62.8%	48.7%

<資料>札幌市

②企業のまちづくり活動への参加数(のべ)



<資料>札幌市

将来のまちの姿-3

ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスなど、ビジネスの手法を活用して地域課題を解決する活動も活発に行われています。

データからわかる現在のすがた

- ①ソーシャルビジネス担い手育成講座を実施し、ソーシャルビジネス起業家の育成やネットワーク構築などを推進しています。
- ②ソーシャルビジネス担い手育成講座の受講率は 100%を超えるなど、高い数値で推移しています。

①ソーシャルビジネス担い手育成講座の様子



②ソーシャルビジネス担い手育成講座受講率



<資料>札幌市

